



2012~2013

沼田ロータリークラブ会報

奉仕を通じて平和を
Peace Through Service

2012~2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 宮澤孝幸 幹事 関 真一 会報編集 飯島千明
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

2013年4月23日発行 №41

第2740回 例会報告
2013年4月16・17日

記録 塩浦 敬之

例会予告

4/23	沼田市先生の日講演会 於文化会館
4/30	星の絆と復興支援 桑原敏彦会員

<http://www.rid2840.jp/numata/>

東北大震災被災地視察 4/16・17

気仙沼・南三陸・石巻、がんばれ東北！



気仙沼、南三陸、石巻研修視察旅行レポート

記録 塩浦敬之君

平成25年4月16日午前6:00にバスは予定通り数箇所で参加者を乗せ沼田を出発した。宮澤会長の挨拶に始まり、クラブ奉仕委員会の山田委員長より趣旨説明並びに全行程の説明があった。

その後は各委員長より委員会報告等があった。程なくして、会長より高級ワインが振舞われた。①2003年物、ハンガリー産「ポールフォーラス」②1999年物、ドイツ産「ブルクライヤーシロスカブ」③1971年物、フランス産「シャトードゥボーリュ」美味しいワインはあつという間に無くなってしまった。

途中、SAに数箇所立ち寄りながら、最初の目的地である気仙沼へはほぼ予定時間に到着し、仮設飲食街で各自昼食を取り、また復興支援の一助としてお土産を買い求めた。

そしてこの地は沼田市との交流が強まっている場所であり、更には星の絆ライトアップ事業で桑原敏彦会員が実行委員長で所属する団体が活躍している地もある。南三陸ホテル觀洋には16:30分にチェックインし入浴をして懇親会へと移る。

このホテルも2階まで浸水し被災されたが当時は600人もの被災者を受け入れ女将が中心となり寝食などの支援をされたそうである。

翌朝、ホテルから被災者でもある「語り部」

さんに乗車して頂き、志津川、南三陸の被災地を見学した。この方は父親が経営するカラオケ店で働いていたが惜しくも津波で流され親を亡くしたと話されていた。

被災地を見て改めて思ったのは未だ場所によつては復興が遅れている事。南三陸防災庁舎前に佇み、津波のパワーによりひしゃげた手摺や鉄骨を目の当たりにしたときは自然の驚異に慄くと共に、被災された方やお亡くなりになつた方へ手を合わさずにはいられなかつた。特に最後まで避難指示を訴えていた女性職員の方がここで殉職されており参加者全員で備えられていた献花台にお線香を手向け弔意を表す。

その後は石巻へ移動し、石巻復興マルシェにて昼食そして買い物したあと、近所にあつた石ノ森章太郎記念館に見学に行った。

時間になりバスに戻り一路、沼田に向け出発する。

尚、この石巻に会長が沼田に忘れてしまつた復興チャリティーソング「花は咲く」のDVDがようやく一枚だけ見つかり会長は買い求められ車内にて上映になつた。

途中数箇所のSAへ立ち寄り、休憩を取りながらPM7:30に沼田に到着。

そしてたまたま気仙沼フェアを行つてたディランさんにて下山祝いを行つた。

今回の視察研修で感じたことは被災地によ

り復興速度に格差があるという事実。また、物質面での支援も然ることながら心の交流も引き続き必要であると感じた。

今後もどんな方法であれ沼田ロータリークラブとしての支援と交流は途切れることなく継続していく事が大切であると感じた。

■参 加 者

宮澤孝幸君	関 真一君	山田龍之介君
齋藤正典君	保坂充勇君	武田 寛君
水石清治君	松野正一君	阿形登氏君
片山晃一君	諸田豊二君	桑原伸一郎君
笛川正之君	小菅茂雄君	宮田徳彦君
戸部聖之君	天野純一君	金井正樹君
桑原敏彦君	赤間昌彦君	石澤雄一郎君
塙浦敬之君		

■行 程

1日目 沼田——沼田 I C 〈関越道・北関東道・東北道・仙台南部東部道・三陸道〉桃生津山 I C——志津川——気仙沼 12:30~15:30——志津川 16:30 南三陸ホテル観洋

2日目 ホテル——被災地視察——桃生津山 I C 〈三陸道〉石巻南 I C——石巻市内視察 11:00~13:00——石巻南 I C 〈三陸道・仙台南部東部道・東北道・北関東道・関越道〉沼田 I C——沼田



